

多くのご意見・ご要望をありがとうございます。

中央図書館では館内2か所に提案箱を設置し、皆さんからのご意見・ご要望をいただいております。

令和元年10月から令和2年3月までに38件いただきました。主な内容は次のとおりです。(提案に対する回答を希望される方は、氏名・住所・連絡先をご記入ください。資料のリクエストは専用申込書でご提出ください。)

内容		対応・回答
施設・設備	貸出カードを紛失してしまうので、スマホの電子カード(アプリ)をリリースされたい。	アプリの開発予定は現在のところありません。現状の貸出カードを継続使用していきます。
	利用者照会の画面で、予約確保一覧の中の割当日しか見れず、取置期日が見れないのが残念である。	画面で表示されている割当日の欄はありますが、取置期日の表示はしていません。システム開発業者との打ち合わせ時に、欄の非表示等の改善の可否を確認していきます。
	VHS ビデオテープの再生機が中央図書館にはないので、1 台ぐらいはあるといい。例えば『一杯のかけそば』を見ようとしたのですが、ビデオテープでしたので、見れませんでした。在庫として保有していながら使用不可はもったいないと思います。	中央図書館での VHS ビデオテープの再生機利用の申し出は、他館(尾西図書館、玉堂記念木曾川図書館、子ども文化広場図書館)でのご利用を案内しています。ご理解をお願いいたします。
	当日の新聞をコピーしようとしたところ、スタッフからできないとの声かけがあった。禁止されていることを知らなかったなので、その旨を掲示してほしい。	「当日の新聞は複写できません」との表示を新聞ホルダーの枠の上部に貼り、掲示いたしました。
資料	雑誌のリクエストができるようにしてほしい。	雑誌のリクエストを受付していない理由は、書籍と違い、定期的な購入による予算不足を生む恐れがあるため、お断わりしています。
運営面	『赤松小三郎ともう一つの明治維新』深く感動。作者の関良基氏を招き、文化講演会希望。数年後には坂本龍馬以上の思想家としてブームを予感しています。将来、市民が赤松小三郎を知り、学び、志が起きん事を願います。	参考にさせていただきます。関係課(生涯学習課)にも伝達しております。
	リクエストが受理されなかった時に、そのリクエスト担当のスタッフがわざわざ来て、お断わりの話をされますが、「今回のリクエストは受理できませんでした」と言えば、済むことではないのでしょうか。簡略化して良いと思います。	リクエストで不受理となった場合、担当スタッフから電話にてお伝えしています。連絡が取れなかった方の中には、窓口でお伝えする場合があります。どのリクエストについてなのか、不受理の理由はどのようなものか等を誤りなく確実に伝えるため、担当スタッフのみで対応しています。ご不便をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたします。